

チームで成果出す意識醸成を

オリジナル設計 管理職研修開く

オリジナル設計はこの 人が全国の支社・支店から参加。実務者（プレイヤ）としても成果を出した。現在管理職を務めし続けようとする「プレイングマネージャー」の 思考に陥りがちな管理職になる社員、合わせて30

全性」を向上させるための心構え、パフォーマンスを向上させるためのコーチングのスキル等を学んだ。

全国の支社から集まった受講者たち

が、プレイヤと管理職の違いを整理し、チームとして成果を出すために必要な役割・スキルを改めて認識するとともに、職場で実践すべき内容を学んだ。研修では、

研修を視察した菅伸彦・社長は「プレイヤとして優秀な社員であっても、管理職としてはまた異なるスキルが求められることとなる。本研修は若手社員の育成やマネジメントといった管理職に求められる仕事について体系立てて説得力をもつて伝え、マインドを形成しつつ社全体の水準の底上げを目指すもの。研修を受けて終わりではなくその後の意識の変容も重視し、学んだことの水平展開を図ってもらえれば」と話した。

水 道 産 業 新 聞

2025年（令和7年）10月6日（月曜日）



チーム成果向上を 管理職研修を実施

オリジナル設計

オリジナル設計（菅伸彦社長）は、9月5日、同社会議室で管理職研修を実施した（写真）。同

社ではこれまでキャリアデザインに特化したセミナーは行っていたが、今回の研修では対象を管理職に特化。管理職が優秀なプレイヤーとして自身が成果を出し続けようとするのではなく、「チームとして成果を出す」ために必要な役割を認識し、自身の職場で実践すべき

内容を考察することを目的とした。

受講対象者は管理職になつて5年以内の管理職および監督職で今後、組織マネジメントを行っていくことを期待する35～56歳までの30人。

外部講師を招き「組織の理念や目標をチームへ浸透させる」「業務マネジメント」「リスクマネジメント」「チームを活性化させる」「部下を育成する」という管理職が押さえておくべき5つの役割について講義やグループワーク、振り返りのカリキュラムを通じて学習。改めて管理職の役割とは何か、どのように役割を果たしていくべきかを考える機会となった。

